

道徳教育特別非常勤講師派遣事業実施報告書

学校名		中標津町立中標津小学校		教員数	28名	児童・生徒数	359名	学級数	22学級
1 事業実施内容									
特別非常勤講師名		金 由起子							
職業又は活動分野		北海道栗山高等学校 女子野球部監督							
派遣期間		令和5年8月31日～8月31日	勤務日数		1日				
実施学年		第5・6学年		実施時間数		120分			
内容項目		A-(5) 希望と勇気、努力と強い意志							
指導内容		目標に向かって努力してやり抜くことの大切さや、夢を実現したことの喜びなど、講師の体験談を児童が聞く活動を通して、自己の向上のために努力しようとする道徳的態度を育てる。							
指導展開	事前指導	<ul style="list-style-type: none"> ○ 実施教科等 ・ 学級活動 ○ 内容 ・ 講師の略歴、内容項目に係る児童の経験等の交流 							
	講演	<ul style="list-style-type: none"> ○ 演題「自分の道は 自分で切り拓く」 ・ 野球との出会いと続けることの困難さについて ・ 女子野球ワールドカップでの様子と継続することの大切さについて ⇒自身の経験に基づいて、ワールドカップの様子や、野球を通して出会った人から学んだことについて話し、最後に次のようにまとめた。 「どこからでも世界一になるチャンスはある」 「誰にでも世界一になるチャンスはある」 「自分が諦めない限り可能性はある」 ○ 質疑応答 ・ 野球技術の向上に関する質問 ・ 諦めずに継続することに係る質問 等 							
	道徳科の授業(事後指導)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容項目 【第5・6学年】希望と勇気、努力と強い意志 ○ ねらい 【第5学年】困難があってもくじけず、希望をもって自分の夢や目標を実現しようとする道徳的実践意欲を育てる。 【第6学年】より高い目標に向かって、くじけないで努力しようとする道徳的態度を育てる。 ○ 講演との関わり ・ 講師は、性別や男性選手との体格差などから一度は野球を諦めたが、人との出会いや野球への思いから再び野球人生を歩み、ワールドカップ5連覇の偉業を成し遂げた。講師が目標や夢をもってそれを実現しようとする努力した姿や、諦めずに継続することの大切さなどと関連付け、授業を展開した。 							
2 成果の概要									
<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童が「金さんみたいに強い気持ちをもつことを意識して生活していきたい」と振り返るなど、積極的で前向きな生き方・考え方の形成を促すことができた。 ○ 児童が「人に助けをもらうばかりではなく、自分から進んでいくことが大事だと思う」と振り返り、その後の道徳科の授業において、「夢を実現するために自分のできることから始めたい」と考えを述べるなど、様々な生き方への関心を高め、自己の向上のために粘り強く取り組むことの大切さに気付くことができた。 									
3 今後の課題									
<ul style="list-style-type: none"> ● 機器の設定の関係により、講師の作成したスライドの音声の一部聞こえなかったことから、事前の打合せにおいて機器の操作及び設定について確認する必要がある。 									
4 その他特記事項									
特になし									

講演

